

目標達成計画

作成日: 令和 3年 5月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		スタッフ1名の夜勤で「夜間確実なる巡回の確認、室温と湿度、入居者の眠っている様子」の書き入れ書類の内容の徹底を図る。	入居者の命を守る為。夜勤者は巡回を確実行う。	2時間おきの巡回が確実に実施されているのか？の確認を江口孝則総括を含め、資格者の携帯電話に写メールで送信行う。また同時に居室の室温も写メールで確認し、確実な対応を行う。資格者は深夜でも写メールでの入居者の実態を確認作業している。	12ヶ月
2		身体拘束と虐待についての内容とその対応の問題点と課題の確認。	身体拘束と虐待防止内容の法令などの知識を得る。	身体拘束と虐待についての内容とその対応と法的の例などを検討会年4回で無く、2ヶ月間に一度は資料などを参考に開催する。知り学ぶ社内研修の定期開催。	12ヶ月
3		入居者への投薬について詳しく知ろう。	常に入居者の投薬の内容と効果を知る。	スタッフの毎日のミーティングで、入居者の薬が変更となった時は確実に変更を伝え、また薬の説明内容とその効果を確認する。	12ヶ月
4		毎月確実に行っている訓練で、日中と夜間の火災避難訓練はしているが、現在の異常気象で、地震、水害などの自然災害の入居者への避難訓練が出来るのか？火災は消防署隊員が助けに来るが、自然災害は自分たちで、助ける者が居ない事を想定しよう。	①どこに避難するのか？の場所の確認②持ちだし書類③衣服の確認、準備④緊急避難への連絡⑤関係者への報告。の確認。	①災害時の持ちだし品のリストを作成いつでも準備出来る様にする。②誰もが目に付く場所に掲示する。③災害の際に避難場所誘導方法など。④定期的な月一回の火災訓練の際にスタッフが入居者へ不安が残らない、声掛けの練習。	12ヶ月
5		出来る事なら、時々は室内から、外に出よう！	コロナ感染対策で、外出が出来ないが、それでも、その機会を持つ。	年間行事、日本の伝統「櫻の花見」は、人が日頃居ない曜日や時間を考慮し、消毒を徹底しながら開催する。各病院への受診や薬局や食材の買出しに、スタッフの同行の元で外に出る機会があれば、その際に気分転換を図る様に努力をする。	12ヶ月